

49 イノベーション創出基礎的研究推進事業

【4, 039 (5, 565) 百万円】

対策のポイント

農林水産政策における様々な課題の解決に資するイノベーションの創出を目指した基礎的な研究及び応用研究等を競争的資金制度により推進します。

<背景／課題>

- ・農林水産政策における様々な課題に技術面から対応するためには、産学官の研究者の能力を活用しつつ、革新的な技術シーズ（技術の種（たね））を生み出すとともに、生み出された技術シーズを実用技術の開発に向けて発展させることが重要です。
- ・また、東日本大震災からの復興等に向けて産学官の研究勢力を結集させ、技術的問題を解決することが重要です。

政策目標

技術シーズの開発から技術シーズの事業化に向けた発展

<主な内容>

1. 技術シーズ開発型

- （1）多様な分野の研究者の独創的アイデアや基礎研究の成果をベースとし、将来における技術革新や新産業の創出を目指した技術シーズを開発するための基礎的な研究について、産学官の研究者に提案公募を通して委託します。
- （2）若手研究者のみを対象とする枠を設け、技術シーズが将来にわたって継続的に生み出されるよう、次世代を担う研究者を育成します。

2. 発展型

- （1）技術シーズ開発型や他の研究資金制度を用いて開発された技術シーズを実用技術の開発に向けて発展させるための研究開発について、産学官の研究者に提案公募を通じて委託します。また、課題採択後は、多段階選抜方式を導入し、より実用化につながる研究を支援します。
- （2）成果を活用したベンチャービジネス立ち上げの計画を有する者のみを対象とする枠を設け、1年目に市場調査等のフィージビリティスタディの結果に基づいた選抜を行うことにより、質の高い研究開発ベンチャー企業を育成します。

3. 事業化促進型共同研究

事業化が見込まれる技術シーズを有する大学、公設試等の公的研究機関と研究成果の事業化に取り組む予定の民間企業が行う、東日本大震災からの復興等に資する共同研究開発について、提案公募を通じて委託します。

実施機関：独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
生物系特定産業技術研究支援センター

[お問い合わせ先：農林水産技術会議事務局研究推進課

(03-3502-5530 (直))]

イノベーション創出基礎的研究推進事業（拡充）

農林水産・食品産業分野等におけるイノベーションの創出のための基礎・応用段階の研究開発等の推進

目的基礎

応 用

事業化

技術シーズ開発型研究

【一般枠】

（拡充： 少額課題枠の設定）

研究期間：5年以内

研究費：

① Aタイプ： 6千万円以内／年

② Bタイプ： 1千万円以内／年

【若手研究者育成枠】

（拡充： 少額課題枠の設定）

39歳までの若手研究者が対象

研究期間：3年以内

（2年以内の延長が可能）

研究費：

① Aタイプ： 3千万円以内／年

② Bタイプ： 1千万円以内／年

【目的基礎研究の例】

- ・環境ストレス耐性遺伝子の探索
- ・生物の優れた機能・仕組みの解析

発展型研究（多段階選抜方式）

【一般枠】

（拡充： 多段階選抜方式の本格的導入、少額課題枠の設定）

フェーズⅠ

研究期間：1年間

研究費：Aタイプ、Bタイプ
共通5百万円以内／年

フェーズⅡ

研究期間：2年間

研究費：

①Aタイプ：5千万円以内／年

②Bタイプ：1千万円以内／年

【ベンチャー育成枠】

フェーズⅠ

ベンチャービジネス立ち上げに向けた市場調査等

研究期間：1年間

研究費：5百万円以内／年

フェーズⅡ

研究開発の実施

研究期間：原則2年以内

（1年間の延長が可能）

研究費：3千万円以内／年

【応用研究の例】

- ・環境ストレス耐性遺伝子発現機構の解明
- ・生物の機能・仕組みを利用した技術の創出

事業化促進型共同研究

（拡充）

○ 東日本大震災からの復興等に資する産学官からの独創的な提案に基づく事業化を促進するための共同研究の実施

・大学、公設試等の公的研究機関と民間企業等の共同研究

・研究期間：3年以内

・研究費：2千万円以内／年

【事業化研究の例】

- ・水田の漏水箇所を特定する装置の開発

※技術シーズ開発型研究一般枠Aタイプ及び発展型研究一般枠Aタイプ（フェーズⅡ）において、国際共同研究が可能であり、国際共同研究を行う場合は、研究費の上限額を1千万円加算した額とする。